



あけましておめでとうございます

令和6年を迎えました。本年も皆さんが一日一日を大切に過ごし、それぞれの目標や進路希望が達成されることを願っております。

さて、来る1月13日(土)・14日(日)には大学入学共通テストが行われます。全国の志願者数は49万1913人で、前年度と比べて2万688人減り、減少率は4.0%と6年連続の減少です。また、現役生の志願者数は41万9533人で、前年より約1万7千人減少した一方、浪人生の志願者数は6万8220人で、共通テスト志願者に占める浪人生の比率は13.9%と過去最低となりました。

本校からは3年生82名が出願しており、13日(土)・14日(日)に筑波大学の各試験場において受験します。受験する皆さんは、12日(金)の本校での事前指導(出陣式)の後、各自試験場へ移動し、案内を見て集合場所や待機場所・試験教室を確認するなど、可能な範囲で試験場の下見をしてください。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等への感染対策を徹底し万全の体制で試験に臨んでください。受験する皆さんが実力を発揮し、大いに健闘されることを祈っています。

1・2年生においても、「共通テスト同日体験受験」に挑戦してみるなど、共通テストを体感してみてください。また、今月中旬には模擬試験が予定されています。入試や模擬試験にはテスト直前だけの詰め込み型の勉強では対応できません。毎日集中して勉強することを習慣化し、知識を蓄積することで本当の学力が身につきます。受験本番を意識して模擬試験に取り組むように心がけてください。更に、模試受験後は必ず振り返りをして自分の弱点を知り、次回の模試に活かしていくようにしましょう。

《 1月の進路関係行事 》

13日(土)・14日(日)	大学入学共通テスト(3年)
	※12日(金) 出陣式 15日(月) 自己採点
16日(火)	進研模試(1・2年)
20日(土)	漢字検定
	英語検定
29日(月)～31日(水)	定期考査V(3年)



【今後の入試の日程】

○国公立大学の2次試験のスケジュール

共通テスト翌日に、校内で自己採点を行います。その自己採点の結果と大手予備校各社の合否判定を参考に、担任の先生との面談を経て出願先を最終決定します。2024年度入試の国公立大学2次試験の出願期間は、1月22日(月)～1月31日(水)です。共通テストの結果を見てから出願校を決め、願書を取り寄せて出願することも可能ですが、この時期は私立大学および国公立大学2次試験対策に忙しい時期でもあるので、受験する可能性のある大学の願書は余裕がある時期にあらかじめ入手しておきましょう。また、国公立大学でもインターネット出願の導入が進んでいますので、自分が出願する大学の出願方法を確認しておきましょう。

○私立大学の個別試験のスケジュール

私立大学の個別試験の出願期間は、1月上旬から中旬頃に1～2週間の期間を設けている場合が多くあります。近年はインターネットによる出願受付を導入している大学が急速に増えています。インターネット出願は、わざわざ紙の願書を取り寄せる必要がなく、24時間出願できるなど、さまざまな利点があります。ただし、インターネット出願であっても、調査書などは別途郵送で送る必要があるため、締め切り日から余裕をもった出願を心がけましょう。私立大学の共通テスト利用入試には、共通テスト本試験よりも前に出願を締め切る「事前出願」型と、共通テストを受験してから出願できる「事後出願」型がありますが、「事後出願」型であっても出願できる期間は共通テスト本試験の数日後までとなっている大学が多いので、じっくり考えている余裕はありません。したがって、出願する可能性のあるすべての大学について、あらかじめ出願書類を用意しておきましょう。特に高校で発行する調査書は発行までに1週間程度かかると考え、早めに依頼してください。

○私立大学一般選抜の出願戦略について

① 「大学入学共通テスト利用方式」

共通テストの成績を利用して合否判定する方式。この方式を一般選抜で導入する私立大学は530校を超え、全体の約9割に達しています。私大受験に関して共通テストを受験しておく、複数の大学に出願が可能となる点と、出願のみで試験会場に向かなくてよい点がメリットです。近年、共通テスト利用方式の合格者を増やす大学が多くなっているため、以前より合格倍率が下がっている例も珍しくありません。

② 「英語外部検定利用入試」

英語外部検定試験（英検など）を事前に受検し、一定以上の級・レベル・スコアを獲得している受験生を対象とした選抜方式です。大学によっては英語民間検定の成績のみで英語教科の得点を評価する大学もあり、この場合は英語の独自試験対策が不要となります。また、推薦入試においても英語民間検定の取得者は評価されますので、高2の時期からぜひ準備をしておくといいいでしょう。

③ 「後期試験」

2月後半から3月にかけて実施される試験がねらい目になりそうです。理由は、少子化＋年内入試利用者増（特に中堅レベルの受験生）＋一般選抜で多くの私大が合格者を増やしたことなどが重なり、後期試験の時期まで残る受験生がこの3年で一気に激減してきたからです。注目したいのは小規模な地元私大です。この層は年内の推薦入試を選ぶ受験生が多いため、特にねらい目となる可能性があります。

【今後の留意点】

- (1) 受験直前の学習は、受験勉強の総仕上げとして過去問演習に取り組むこと、すべての科目をまんべんなく勉強すること、発展的内容より基礎固めを重視することなどが重要です。
- (2) 自宅から離れた場所にある大学を受験する場合は、宿泊・交通手段の確認・予約を早めにしておきましょう。
- (3) 規則正しい生活を送り、新型コロナウイルス感染症・風邪・インフルエンザなどの予防に努めましょう。